



## 2019-2020 ミャンマー日本語教師育成プログラム

### 申請要領

1. 趣旨  
本プログラムは、ミャンマーで急増する日本語学習者に対して効果的な指導を実践できるミャンマー人日本語教師を育成することを目的に、独立行政法人国際交流基金と、ミャンマーの日本語教育の拠点機関であるヤンゴン外国語大学、マンダレー外国語大学が共同で開設する日本語教師育成のためのプログラムです。
2. プログラム概要
  - (1) 期間  
大学のスケジュールに合わせた1年間のコースです。  
〔前期〕2019年12月から2020年3月、〔後期〕2020年6月から2020年9月
  - (2) 授業時間と開催場所  
マンダレー：毎週水曜日と木曜日の午後3時から6時、マンダレー外国語大学（MUFL）  
ヤンゴン：毎週土曜日と日曜日の午前9時から12時、ヤンゴン外国語大学（YUFL）
  - (3) 採用予定  
マンダレーとヤンゴンそれぞれ約30名
  - (4) 内容  
ミャンマーで初級日本語の学習者を教える教師の専門性の向上を目指して、日本語教授法に関する理論と実践の両面を学びます。
  - (5) 修了証  
出席率が8割以上で、コースのすべての科目で合格点に達した受講生には、国際交流基金とヤンゴン外国語大学、または国際交流基金とマンダレー外国語大学の連名で修了証（Certificate）が発行されます。
3. 申請資格  
ミャンマー国籍で、現在日本語教師として働いている者、あるいは日本語教師として働く予定である者。日本語能力試験（JLPT）のN2レベル相当であること。
4. 受講料  
前期、後期、それぞれ90,000 ミャンマーチャット程度、別途テキスト代として30,000 ミャンマーチャット程度がかかります。
5. 受講申込
  - (1) 提出書類（以下3点）
    - a. 受講申込書（Application Form） ※手書きで記入してください
    - b. IDカードの写し
    - c. JLPTの成績表の写し ※不合格でも可



(2) 提出方法

a. 郵送・持ち込み

マンダレーの受講希望者は、マンダレー外国語大学（MUFL）日本語学科のプログラム担当者へ提出してください。

ヤンゴンの受講希望者は、国際交流基金ヤンゴン日本文化センター（The Japan Foundation, Yangon）へ郵送もしくは直接お持ち込みください。

b. Eメール

全ての申請書類のスキャンデータを ptcho27.jp@gmail.com宛に送ってください。メールの件名を「日本語教師育成プログラム申込（Full Name）」としてください。後日、申請書の原本を提出していただきます。

(3) 提出期限

2019年10月25日（金）までに届くように提出してください。

6. 選考方法と結果通知

(1) 審査

提出された書類を基に、日本語教師としての適性、意欲、日本語教師として将来的に活動していくか等を、国際交流基金及びヤンゴン外国語大学、マンダレー外国語大学の基準により審査を行ないます。

(2) 結果通知

合格者には2019年11月22日（金）までに電話もしくはメールにて通知します。可否に関する問い合わせには一切応じられませんので、ご了承ください。

7. 問い合わせ

国際交流基金ヤンゴン日本文化センター（The Japan Foundation, Yangon）

住所： No. 70 Nat Mauk Lane (1), Bahan Township, Yangon, Myanmar

電話番号：09-891055553

メール：ptcho27.jp@gmail.com

担当者：Daw Pwint The Cho

以上